

Japanese Women's Leadership Initiative

2013 JWLI ワークショップ山梨・東京

～非営利団体が社会にもたらす貢献と影響～

アメリカのボストンから社会貢献分野の話題の二人のゲストが来日し、
“社会の問題や課題に対して非営利の組織がどれほどの貢献をしているか？”をテーマに
実際の活動を紹介しながらお話いただき、ご参加の皆様と意見の交換をするワークショップです。

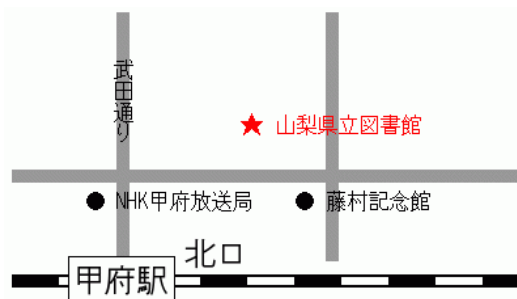
日本では2011震災以降、多くの非営利の団体や財団による活動が詳細に報告され、その重要な役割が一般の人々に理解されるようになってきました。アメリカでは歴史的にも市民や企業による様々な社会貢献活動（フィランソロピー）は人々の生活や文化に根付いています。数多くのNPOが盛んに活動しており、社会において大きな存在となっています。アメリカにおける社会的問題や課題の大きさは、人種問題、移民問題、格差社会などの複雑さが加わりきわめて深刻な状況にあります。そうした社会の課題に対して特に非営利の組織が果たす役割の重要性は、さまざまな形で日本にも伝えられています。2013年JWLIワークショップは、ボストンの非営利団体を率いるお二人との語りを通して、非営利組織のダイナミックでユニークな運営力を学びます。

開催日時・場所

5月25（土）13:00～16:00

山梨県立図書館 多目的ホール

山梨県甲府市北口2-8-1（甲府駅北口徒歩3分）

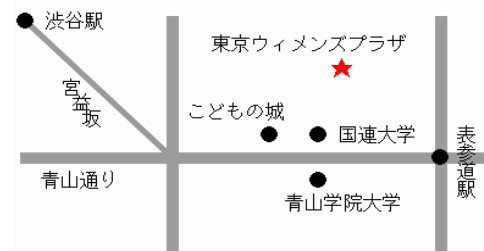


5月26日（日）13:30～16:30

東京ウィメンズプラザ2階 第1・第2会議室

東京都渋谷区神宮前5丁目53-67

（地下鉄銀座線、半蔵門線、千代田線、表参道駅徒歩5分）



<参加費> 無料

<定員> 山梨 90名

東京 90名

<申込締切> 定員になり次第

<英語通訳> あり

<託児> 山梨会場のみ有

参加申し込み・お問い合わせ

◆5月25日山梨ワークショップ jwli.ws.yamanashi@gmail.com

◆5月26日東京ワークショップ jwli.ws.tokyo@gmail.com

◆JWLIの会について、JWLIボストン研修募集に関して jwli.boston@gmail.com

主催：JWLIの会（JWLI facebook ページ 参照）

協賛：米国・ニューヨーク The United States-Japan Foundation/米日財団

米国・マサチューセッツ州ボストン The Fish Family Foundation/フィッシュファミリー財団

米国・マサチューセッツ州ボストン Simmons College, School of Management/シモンズカレッジ大学院

開催プログラム

◆第1部：スピーチ&トークセッション

『非営利活動の成功のために、最も重要なことは？』（60分）

スピーカー： リオ・ディレイニー氏（エリス・メモリアル CEO）

ジョアンナ・クロフォード氏（ウェブ・オブ・ベネフィット ディレクター）

進行： 谷岡理香（東海大教授、フリーアナウンサー、JWLI6期フェロー）

◆第2部：グループ別 ワorkshop（60分）

4グループに分かれてのテーマ別のディスカッションを行います。

参加者の皆様とディレイニー氏、クロフォード氏をはじめとしてボストンからの関係者も全員参加します。

◆第3部：グループ別ワークショップ発表、Q&A（30分）

ゲスト紹介



“貧困が招く教育格差の連鎖に立ち向う！信念の人” リオ・ディレイニー氏

2010年『スーパーマンを待ちながら』というアメリカの悲惨な公立教育の現状をテーマとしたドキュメンタリー映画が話題を集めました。これは、映画『不都合な真実』でアカデミー長編ドキュメンタリー賞に輝いた鬼才D.グッケンハイム監督が、低い教育レベルが指摘されている全米の公立小・中・高の各学校が抱えた問題を見つめる社会派ドキュメンタリーで、特に貧しい地域に住む子どもたちの悲惨な現実に迫りました。

ボストンでのこのような問題に取り組むNPOにエリス・メモリアルがあります。120年の歴史を持つ大きな組織で低所得者地域の子どものためのきめ細かい、プロフェッショナルな教育支援を行なっています。

一人目のゲストは、このエリス・メモリアル（Ellis Memorial）のCEOであるリオ・ディレイニー氏。時代の流れの中で常にもっとも効果的なプログラムを提供している、優れた経営手腕で有名なリーダーです。

エリス・メモリアルHP <<http://www.ellismemorial.org/>>



“夢の実現を支援する、パッションの人” ジョアンナ・クロフォード氏

環境や人権の分野で、優れた功績を残している一般の人々にスポットライトを当てるCNNの

プロジェクト「CNNヒーローズ」をご存知ですか？毎年、世界中の視聴者から“日常の中にいるヒーロー”の推薦を呼び掛けて、世界で24名の候補者が選ばれます。2012年のCNNヒーローの一人としてノミネートされたのが二人目のゲスト、ジョアンナ・クロフォード氏です。

<http://edition.cnn.com/2012/07/19/us/cnnheroes-crawford-domestic-violence/index.html>

彼女は、家庭内暴力の状況から脱し、次のステップを歩もうとする女性たちの自立支援をする非営利団体、ウェブ・オブ・ベネフィット（Web of Benefit）を一人でスタートさせた女性です。度重なる暴力で自尊心が損なわれ、自信を喪失し生きる価値もない…と感じている女性たちに、クロフォード氏は自分の人生に『夢』を持ってもらうことで生きる力を取り戻すサポートをしています。彼女たちに「人は誰でも夢を持つ権利がある」ことを理解してもらい、それぞれの『夢の実現』のために支援をする、アメリカに数多く存在するDV被害者・経験者の支援組織の中でもユニークな存在です。

ウェブ・オブ・ベネフィットHP <<http://www.webofbenefit.org/>>